日本工学院八王子専門学校 開講年		開講年度	2019年度(平成31年度)		科目名	雑誌デザイン実習3			
科目基礎情報									
開設学科	グラフィックデザイン科		コース名				開設期	前期	
対象年次	3年次		科目区分	選択			時間数	120時間	
単位数	4単位		授業形態	実習					
教科書/教材 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。									

担当教員情報

担当教員 後藤 武 実務経験の有無・職種 有・編集者

学習目的

グルーブによる本格的な雑誌制作。学内外でプロモーションするべきものを選択してリサーチを行い必要なプロモーションをする為の小冊子を制作する。よりレベルのグループワークを行う為に必要なコミュニケーションの方法や効率的な作業の進め方、複数の人間で作業する上での統一感を出すデザインや構成、地マネージメントを学ぶ。チームワークを構築していく方法と考え方、リーターシップ、判断力、応用力といった人間力を磨き、クリエイターとしてだけではなく、様々な環境、職場にも対応することができる考え方とものの見方を養う。

グラフィックデザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。

- ①クライアントの求めているものを実現できる販促アイテムを作れること。
- ②複数のメンバーが足並みをそろえてものづくりを行うグループワーク、チームワークの重要性を深く理解し、実際に構築できるようになること。
- ③複数のメンバーで物作りをを行いながら常にスケジュールを把握しながら進行していけること。
- ④多ページを複数のメンバーが担当している時でもデザインの統一性を考えた構成ができるようになること。
- ⑤完成したデザインについて明確に説明できること。

教育方法等

より実践的な授業として、現実に効果が得られるものを作ることができるか。また複数のスタッフで助け合いながら、個人では制作する できない高いレベルのものづくりを行うことを目標とする。

注意点

クライアントの意向を満足させる為、実社会で行われている小冊子の制作と同じレベルの制作、進行を行う。進行管理を厳密に行い、提 出前には校正、修正を複数回行って完成度を高めていく。

	種別	割合	備 考			
評	課題完成度	30%	提出課題の完成度を評価する			
価	グループワーク	40%	他のメンバーと助け合って制作ができているか			
方	PR効果	20%	実際の効果がどれほど得られるか			
法	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			

授業計画(1回~15回)

	授業内容	各回の到達目標
1 🗆	ガイダンス、課題スケジュール、イベントプログラム(1)	雑誌制作の概要を理解し、テーマの選定ができる。
2 回	構成①	メンバーでリサーチを行い方向性が決定できること。
3 💷	構成②	構成案をサムネイルにすることができる
4 回	構成③	構成案をサムネイルにすることができる
5 🗉	サムネイル①	サムネイルから具体的な取材ラフを制作することができる
6回	サムネイル②	ラフをベースに取材、撮影の段取りを行うことができる
7回	取材①	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うこととができる。
8 💷	取材②	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うこととができる。
9回	取材③	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うこととができる。
10回	素材整理	写真を整理して最終的なラフを作成することができる
110	デザイン①	表紙、中面のページをデザインすることができる
12回	デザイン②	表紙、中面のページをデザインすることができる
13回	校正 デザインの修正①	指摘された修正点をデザインに反映できる
14回	校正 デザインの修正②	指摘された修正点をデザインに反映できる
15回	講評	制作物を完成提出、発表説明することができる